

# 不登校の現状と対策

令和5年5月31日  
学校教育課生徒支援室

## <現状>

### 不登校児童生徒数の年度別推移（国公立）

#### 〔小中学校〕

（上段：不登校児童生徒数（人）、下段：1,000人当たりの不登校児童生徒数（人））

校種	小学校		中学校		小学校・中学校 合計	
	佐賀県	全国	佐賀県	全国	佐賀県	全国
29	228 ( 4.9 )	35,032 ( 5.4 )	795 ( 32.2 )	108,999 ( 32.5 )	1,023 ( 14.3 )	144,031 ( 14.7 )
30	278 ( 5.9 )	44,841 ( 7.0 )	854 ( 35.4 )	119,687 ( 36.5 )	1,132 ( 15.9 )	164,528 ( 16.9 )
元	333 ( 7.1 )	53,350 ( 8.3 )	920 ( 38.3 )	127,922 ( 39.4 )	1,253 ( 17.7 )	181,272 ( 18.8 )
2	403 ( 8.7 )	63,350 ( 10.0 )	917 ( 38.1 )	132,777 ( 40.9 )	1,320 ( 18.8 )	196,127 ( 20.5 )
3	549 ( 12.1 )	81,498 ( 13.0 )	1,091 ( 44.8 )	163,442 ( 50.0 )	1,640 ( 23.5 )	244,940 ( 25.7 )

#### 〔高等学校〕

校種	高等学校	
年度	佐賀県	全国
29	342 ( 13.7 )	49,643 ( 15.1 )
30	329 ( 13.5 )	52,723 ( 16.3 )
元	366 ( 15.5 )	50,100 ( 15.8 )
2	298 ( 13.0 )	43,051 ( 13.9 )
3	404 ( 18.1 )	50,985 ( 16.9 )

#### 〔小学校・中学校・高等学校〕

小学校・中学校・高等学校 合計		
年度	佐賀県	全国
29	1,365	193,674
30	1,461	217,251
元	1,619	231,372
2	1,618	239,178
3	2,044	295,925

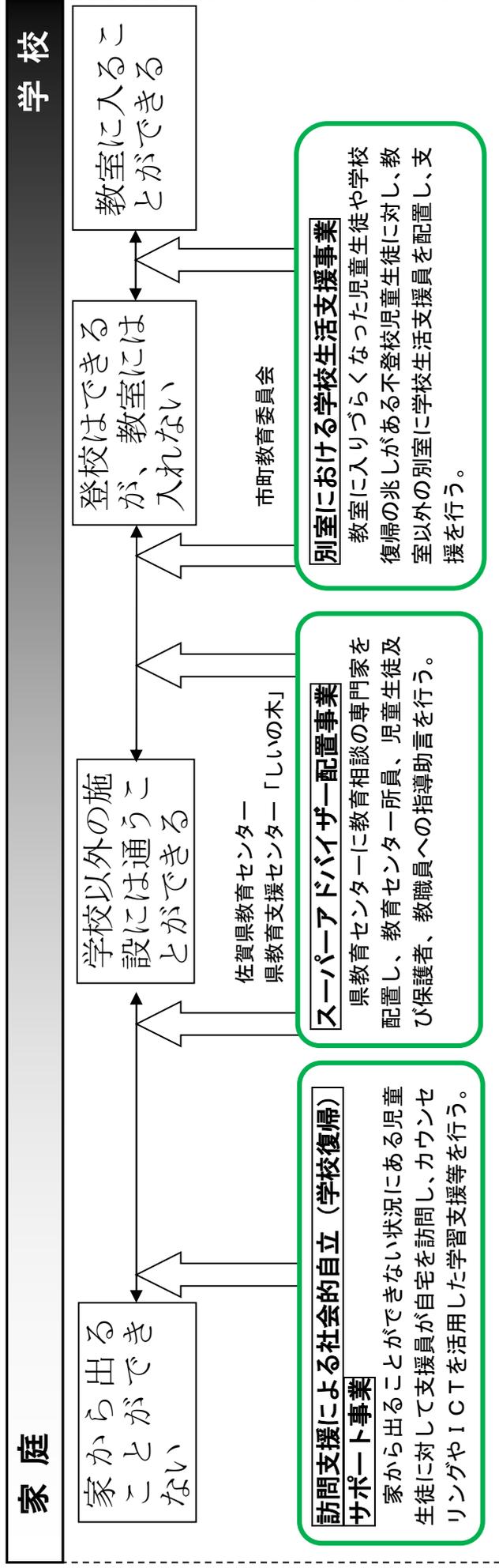
※ 高等学校通信制課程は、調査対象となっていない。

※ 数値は、すべて「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）による。

※ ( ) 内は、1,000人当たりの不登校児童生徒数

# 令和5年度不登校対策総合推進事業 — 社会的自立や学校復帰に向けた段階的支援 —

## 不登校児童生徒の状況



### 教育支援センター事業

教育支援センターを設置し、不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けた支援を行う。

### 教育支援センター「しいの木」機能強化事業

不登校対応コーディネーター等を配置し、不登校児童生徒への多様で適切な教育機会の確保のため、相談会や家庭訪問、教育支援センター指導員を対象とした研修会等を行う。

### スクールソーシャルワーカー活用事業

不登校児童生徒を関係機関等につなぐために、スクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する。

## 学校の校内体制の充実・強化

- 全職員に早期発見・早期対応ができる力が身につけている。
- 教職員相互の報告・連絡・相談ができてきている。
- 管理職・教育相談主任を中心として、役割分担が明確にできている。
- S C、S S W、その他関係機関等との連携体制ができてきている。

## 学校づくり

## 児童生徒の居場所づくり

- 保健室や相談室等、学校内に居場所がある。
- 「分かる授業」「楽しい行事」等を工夫している。
- 児童生徒に笑顔で接することができている。
- 児童生徒に寄り添った対応ができている。